

第5次西栗倉村総合振興計画

平成24年度 ▶ 平成33年度

概要版

百年の森に囲まれた 快適で人が輝く 自然と交流のむら “ 西栗倉村 ”



西栗倉村

まず はじめに ～総合振興計画とは～

Q 「総合振興計画」ってなに？

これからのむらづくりの指針となる、行政の最上位の計画です

この総合振興計画は、西栗倉村が、住む人にとって「安心して住み続けることができるむら」、訪れる人々にとって「また来たくなるむら」を目指し、長期的な視野に立って行政運営を総合的・計画的に進めるための基本的な指針となるものであり、西栗倉村が策定する全ての計画の基本となるものです。

村民の皆さんと行政が、未来の西栗倉村の望ましい姿（将来像）を共有し、その実現に向けて互いに協力しながら取り組むための具体的な行動目標や内容について示します。

Q どんな視点からつくられているの？

人や自然を大切に、村ならではの個性を活かしたむらづくりを目指します

西栗倉村のこれからのむらづくりを考える上ですべての分野にわたる基本的な考え方として、以下の4つの“基本理念”を定め、これに基づき具体的な施策内容を検討しました。

① 村民一人ひとりがいきいきと暮らせるむらづくり

村民一人ひとりの個性を尊重しながら、一人ひとりが村や地域でいきいきと活躍できるむらづくりを目指します。

そして、住み慣れたこの村で家庭や地域のふれあいや支えのもと、全ての村民が健康で住み続けることのできるむらづくりを進め、『住んで良かった』、『来て良かった』と思えるむらづくりを目指します。

② 豊かな自然を大切に活用するむらづくり

本村の大きな魅力であり資源でもある“自然”を今後も守り育て、産業や新エネルギーに活用しながら活力と安らぎのある暮らしを実現できるむらづくりを目指します。

③ 安全、安心、快適な生活ができるむらづくり

安定した生活基盤のもと、村が抱える立地的な課題を解決しながら、安全で安心な暮らしのできるむらづくりを進めていきます。

④ 小さな村だからこそできる村民と一体となったむらづくり

規模の小さな自治体であることの強みを活かし、住民ニーズに対する機動力を高め、自立した自治体として健全で安定した財政基盤を確立するとともに、透明性の高い健全な行政運営を行います。

Q どうやってつくったの？

村民の皆さんの思いを起点に、村民の皆さんと村の職員が協力してつくりました

新しい総合振興計画の策定にあたっては、村民の皆さんのむらづくりへの想いを起点にした計画とするため、小学校高学年以上のすべての村民の皆さんにアンケート調査を実施するとともに、地区別意見交換会やテーマごとの会議を開き、多くの村民の皆さんに参加していただきました。

また村では、各課から職員を集めて計画づくりに中心的に関わるプロジェクトチームを編成し、村民の皆さんから寄せられた意見を取り入れながら計画素案を作成しました。

こうして作成した計画素案は、ホームページなどで公表して皆さんの意見を募ったり、公募委員も含めた各団体等の代表の方からなる「総合振興計画審議会」で話し合ったりして、最終計画をまとめていきました。



村の将来像と分野別目標

村の将来像

百年の森林に囲まれた 快適で人が輝く 自然と交流のむら “ 西栗倉村 ”

この将来像は、「百年の森林」に囲まれ、新たな「百年の森林」を生み出そうとしている私たちが、これからも自然を大切に、自然を活かしながら、いつまでも笑顔で暮らしていける村にしたいという想いを表しています。

「百年の森林」とは、単に森林整備に力をいれていくということではありません。今ある森林をこれから先、50年後も活用できる森にするための持続的な取り組みは、美しい自然に囲まれた西栗倉村での豊かな暮らしを未来につないでいくための取り組みでもあります。「百年の森林に囲まれた」とは、限りある自然を西栗倉村で暮らす全ての人たちと分かち合い、共に守りながら、豊かに住み続けることができる村づくりの姿を表しています。

「快適で人が輝く」とは、村民一人ひとりがそれぞれのライフスタイルに合わせた『快適な』生活が送れる、暮らしやすい環境を作り出すことにより、一人ひとりがいきいきと『輝き』、また多くの笑顔が『輝く』村でありたいという想いを表しています。

村民のみなさんの多くは、“豊かな森林”や“新鮮な空気・きれいな水”が西栗倉村の最大の魅力であると感じています。「自然と交流のむら」とは、そのような村民のみなさんの想いを受け、豊かな『自然』を今後とも守っていくとともに、『自然』を活かした農林業や観光交流などの活力ある産業を育てていくことによって、人と人との温かな『交流』に満ちたむらづくりを目指したいという想いを表しています。

村の将来像

それぞれの分野が目指す姿 《分野別目標》

むらづくりの重点課題



重点課題への取り組み

村の将来像『百年の森林に囲まれた 快適で人が輝く 自然と交流のむら “西栗倉村”』の実現に向け、以下の重点課題に総合的に取り組みます。

重点課題 1 子育て環境の充実強化

次世代を担う子どもたちは村の「宝」です。西栗倉村の子どもたちが健やかに成長していけるよう、行政をはじめ、保護者や地域、学校などが一体となって、安心して子どもを生み、育てられる子育て環境の充実強化に総合的に取り組みます。

重点課題 2 高齢者・障がい者等支援の充実強化

「快適で人が輝くむら」の実現に向け、特に高齢者や障がい者も住み慣れた地域で人々と助け合いながら安心して快適な生活が営めるよう、医療・福祉対策の充実のみならず、健康づくりや生きがいづくりの支援、農業支援や協働のむらづくりなどの取り組みを総合的に行います。

重点課題 3 観光における立ち寄り機能と交流機能の強化

鳥取自動車道の開通により村周辺の交通量の増加が見込まれます。この好機を活かすため、森林などの豊かな自然環境やそれらを活かした良質な農産物や木材だけでなく、それらを守り支えている「人」も貴重な村の資源・財産と捉え、これらを総動員して立ち寄り機能を強化し、「交流のむら」の実現を目指します。

重点課題 4 百年の森林づくり等を通じた「上質な田舎」づくり

「百年の森林づくり事業」は限りある自然の恵みをみなで分かち合う（守り、受け継ぐ）「上質な田舎」づくりを目指した取り組みです。単に森林整備や林業活性化の範囲にとどめることなく、新たな雇用の創出や定住化の促進、観光・交流産業の活性化、さらには低炭素社会の構築につながるよう、再生エネルギー導入等関連施策の連携を図りながら総合的な取り組みを推進します。

重点課題 5 公共施設・設備の計画的な維持・改修・整備

公共施設・設備の機能を適切に保持し、安全で「快適な」行政サービスを提供するため、計画的な財政運営のもと、老朽化が進む公共施設・設備の維持・改修・整備に取り組みます。

また、その際、公共施設は多くの人々の利用に供するものであることから、積極的に村産出材を活用するなど、「百年の森林に囲まれた」西栗倉村としての魅力の発信に努めます。

1 健やかに笑顔で暮らせるむらづくり

1-1 健康づくりの推進

施策の内容

- ▶健康増進活動の推進
- ▶健診・検診受診率の向上
- ▶保健指導の充実

目指す姿

健康に対する正しい知識を持ち、健康に配慮した生活を送るための主体的な取り組みを支援することで、一人ひとりが生涯を通じて元気に過ごせるむら

1-2 子育て支援の充実

施策の内容

- ▶母子保健の充実
- ▶子育てに対する経済的支援の充実
- ▶安心して子育てができる生活環境の確保
- ▶保育サービスの充実
- ▶地域ぐるみの子育て支援の促進

児童福祉や保育サービスの充実、地域ぐるみで子育てを支援する環境づくりなどを通じた、安心して子育てができるむら

1-3 高齢者福祉の充実

施策の内容

- ▶高齢者の生きがいづくりの支援
- ▶介護予防の推進
- ▶介護・年金サービスの提供
- ▶地域ぐるみの高齢者支援の促進

高齢者に対する日常生活の支援や社会参加に向けた取り組みなどを通じて、誰もが地域社会を構成する一員としていきいきと暮らせるむら

1-4 障がい者福祉の充実

施策の内容

- ▶障がい福祉サービスの提供
- ▶障がいのある人の社会参加の支援
- ▶地域ぐるみの障がい者支援の促進

地域全体で障がい者を支えとともに、自立支援や就労支援などを通じて、障がい者が地域の中で自立した生活を送っているむら

1-5 医療体制などの充実

施策の内容

- ▶地域医療体制の充実
- ▶救急体制の周知
- ▶社会保険体制の充実

診療所や保健センターと連携した予防対策や、救急医療体制に関する適切な情報の周知を進めることによって、誰もが健康で安心して暮らせるむら

2 いきいきと学び・スポーツできるむらづくり

2-1 生涯学習の充実

施策の内容

- ▶読書活動の普及推進
- ▶生涯学習支援の充実
- ▶活動成果の活用機会の充実

目指す姿

多様な生涯学習の機会を創出することによって、村民一人ひとりが大きな生きがいや喜びを感じながら、いきいきと活動しているむら

2-2 生涯スポーツの推進

施策の内容

- ▶スポーツ・レクリエーション活動の促進

それぞれの世代に応じた生涯スポーツの機会を提供することによって、多くの村民がスポーツ活動を日常的に行い、いきいきと活動しているむら

2-3 学校教育の充実

施策の内容

- ▶「知・徳・体」を育む学校教育の推進
- ▶特色ある学校教育の推進
- ▶学校教育環境の充実
- ▶学校給食の充実
- ▶高校通学に対する負担解消対策の推進
- ▶子どもの居場所づくりの充実
- ▶家庭における教育の推進

村の特徴を活かした特色ある教育活動の展開により、次代を担うたくましい子どもが健やかに育つことができるむら

2-4 文化の振興

施策の内容

- ▶歴史文化的資源の継承と活用
- ▶地域固有の文化活動の推進
- ▶多様な文化・芸術に触れる機会の創出

村の文化や風習が地域への愛着や誇りとして浸透し、先人が築いた文化財や伝統芸能、祭りが後世に継承される歴史や文化に彩られたむら

3

活力とにぎわいのあるむらづくり

3-1 農業の振興

施策の内容

- ▶ 農業の担い手の育成
- ▶ 農業基盤の安定
- ▶ 農産物の付加価値の向上

目指す姿

意欲ある担い手の育成や農産物の生産・流通体制の整備などを通じて、高い生産性とやりがいを持って農業に取り組むむら

3-2 林業の振興

施策の内容

- ▶ 林業の担い手の確保
- ▶ 林業の作業性の向上
- ▶ 林産物の付加価値の向上
- ▶ 百年の森林創造事業の維持による低炭素なむらづくりの実現
- ▶ 幼少期からの森林への親近感の醸成

林業の担い手の確保・育成や生産物の付加価値の向上などによって、森林の多面的な機能を維持しながら産地としての高い競争力を持ったむら

3-3 観光交流の振興

施策の内容

- ▶ 官民連携によるコーディネート体制の構築と観光産業を支える人材の育成
- ▶ マーケティングの展開と周辺観光情報も含めた効果的な情報発信
- ▶ 「体験」や「学び」に着目したソフト・ハード両面からの観光振興施策の展開
- ▶ 観光施設の経営の健全化

村の地域資源を活かしつつニーズに応じた観光事業を推進することによって、村外から多くの人々が訪れ、笑顔とにぎわいがあふれるむら

3-4 商工業の振興

施策の内容

- ▶ 商工業事業者の安定的な経営の支援
- ▶ 村民の暮らしを支える新たな商業サービスの展開
- ▶ 新たな産業・雇用の創出に向けた起業・創業の支援
- ▶ 村内外の求人情報の収集及び的確な提供

買い物の利便性の向上や製造業の振興策を推進することによって、魅力と活力のある商工業が継続的に展開されるむら

4

自然との共生、安らぎのある安全・安心のむらづくり

4-1 交通・通信体制の整備と適切な維持管理

施策の内容

- ▶ 道路網の適正かつ計画的な整備・維持・補修
- ▶ 安全・安心な暮らしを守る道路除雪の推進
- ▶ 光ファイバ網の維持・整備

目指す姿

交通・通信基盤を適切に維持管理するとともに、村民ニーズに応じた活用を図ることによって、村民が安全かつ快適に生活することができるむら

4-2 定住化対策の推進

施策の内容

- ▶ Uターン者の受入体制の充実
- ▶ 計画的な住宅の確保
- ▶ 定住化に向けた就業支援の充実

雇用環境や住宅環境の充実など、村に住みたい人を支援する環境を整備することによって、多くの人が住みたい、住み続けたいと思うむら

4-3 ごみの減量化とリサイクルの推進

施策の内容

- ▶ ごみの減量化と適正処理の推進
- ▶ ごみの不法投棄の防止
- ▶ リサイクルの推進

村民一人ひとりが、日々の生活の中で環境に対する意識を高め、ごみの分別やリサイクルを一層推進することによって、環境負荷を軽減しているむら

4-4 省エネルギー・新エネルギー対策の推進

施策の内容

- ▶ 省エネルギーの推進
- ▶ 電気自動車の活用
- ▶ 新エネルギー導入の推進

省エネルギー・新エネルギー対策の積極的な推進を通じて、環境負荷を軽減している環境にやさしい低炭素なむら

4-5 上下水道の適切な維持管理

施策の内容

- ▶ 安全でおいしい水の安定供給
- ▶ 排水処理対策の推進

上下水道施設・設備の状況を適切に把握し、計画的な維持管理を行うことによって、安心して上下水道を利用できるむら

4-6 消防防災対策の推進

施策の内容

- ▶ 地域防災力の向上
- ▶ 防災体制の確保・充実
- ▶ 地域防災計画の見直し、防災マップの整備

発生した火災や災害に迅速かつ的確に対応できる体制づくりや地域ぐるみの防災力の向上を通じて、火災や災害に対する高い対応能力を持ったむら

4-7 防犯・交通安全対策の推進

施策の内容

- ▶ 自主防犯意識の高揚による地域防犯力の向上
- ▶ 消費生活の安全性の向上
- ▶ 交通安全対策の推進

犯罪や交通事故を未然に防ぐための啓発活動などを通じて地域の防犯力を高め、誰もが安心して暮らすことのできるむら

5 共に助け合い、効率的・効果的な行政運営のむらづくり

5-1 協働の推進

施策の内容 ▶ 地域コミュニティ活動の促進
▶ むらづくりへの村民参加の推進

目指す姿

村民が主体的に活動できる環境づくりを通じて、村民と行政がそれぞれの立場や役割に応じた行動を実践する村民参加・協働型のむら

5-2 行政事務の適切な実施

施策の内容 ▶ 効果的な事業の実施
▶ 職員の意識改革と資質向上
▶ 職員の人員配置の適正化

職員の職務遂行能力や意識の向上、適材適所に配慮した職員配置などを通じて、村民の視点に立った行政運営を効果的かつ効率的に行うむら

5-3 財政運営の適切な実施

施策の内容 ▶ 財源確保の推進
▶ 村税等の収納強化
▶ 計画的効果的な財政運営の推進

歳入の適正な確保や、財政計画に基づく財源の適切な配分等を通じて、多様化する行政需要に柔軟に対応できる財政運営を行うむら

5-4 公共財の適切な管理・活用

施策の内容 ▶ 公有財産の維持管理
▶ 公共施設及び設備の計画的な整備
▶ 未使用土地・建物の売却の推進
▶ 村有建物敷地の買い上げの推進

公共施設等の有効利用をはじめ計画的な予防保全による施設の長寿命化や民間活力を活用した維持管理を通じて、適切な財産管理を行うむら

5-5 情報化の推進

施策の内容 ▶ 高速通信網の有効活用

情報基盤を村民の日常生活に密着した情報伝達手段として活用することによって、住民課題の解決や生活の質的向上、地域活性化を実現しているむら

5-6 情報公開・保護の推進

施策の内容 ▶ 広報・広聴活動の推進
▶ 情報公開の推進と個人情報保護の徹底

行政情報を様々な媒体を通じて分かりやすく村民に発信することによって、村民と行政の情報共有化と相互の厚い信頼関係が構築されているむら

5-7 人権啓発及び人権教育、男女共同参画の推進

施策の内容 ▶ 人権啓発及び人権教育の推進
▶ 男女共同参画普及啓発活動の推進

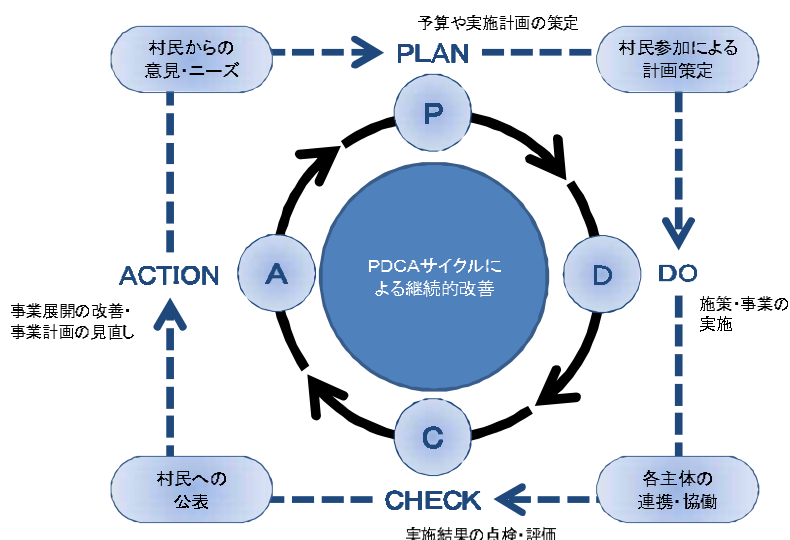
人権問題や男女共同参画に村民が高い関心を持ち、差別や偏見なく一人ひとりがいきいきと活躍できるむら

計画を
推進する
ために

総合振興計画の進捗管理

本計画で示す村の将来像を実現するためには、各施策を着実に推進し、定期的な進捗管理を行うことが重要です。

このため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルに即した施策や事業の進捗管理を行い、計画の実効性を高めていきます。



行政・住民・地域・企業等の『協働』による計画の推進

百年の森林に囲まれた 快適で人が輝く 自然と交流のむら “西栗倉村”

この将来像の中心にあるのは、村の様々な場面でいきいきと活躍する「人」です。この場合の「人」とは、村の将来を支える「主体」という意味であり、決して村民のみなさんだけを指すものではありません。行政や地域、NPO等の団体や企業などもまた、これからのむらづくりを支える「主体」です。

総合振興計画は、本村の今後のむらづくりの基本的な方向性を定めたものですが、すべて行政だけで実施できるものではなく、住民はもとより、地域や団体、企業等の協力と連携、協働が不可欠です。

本計画が、すべての主体にとって将来像の実現に向けた行動指針となるよう、住民、地域、団体・企業及び行政それぞれの役割を示します。

村民の皆さんは…

- 村民の皆さんこそが、これからのむらづくりを支える主役です。日ごろから村のこと、地域のことに関心を持ち、地域活動などを通じてむらづくりに積極的に参加・参画しましょう。
- 特に村の子どもたちは、明日の村を担う大切な「宝」です。子どもたちが、『ふるさと』として村に愛着をもてるよう、地域の様々な活動に子どもたちと一緒に参加しましょう。

地域では…

- 村民の皆さんが様々な場面でいきいきと活躍するためには、地域社会において、人と人との心が通い合い、温かな絆で結ばれていることが大切です。
- 各地域で日ごろから声をかけあい、支え合い・助け合いながらコミュニティの連帯感を高めていきましょう。

団体や企業は…

- 子育てや福祉、地域づくりなど、様々な分野で活躍されている団体の皆さんや、村の産業を支えている企業の皆さんも、むらづくりの重要な主体です。
- 村民の皆さんや地域、行政と連携・協力しながら、それぞれの専門性を発揮してむらづくりに積極的に参加しましょう。

行政は…

- 総合振興計画に基づき、総合的かつ計画的に事業の推進や調整を図るとともに、特に重要な施策については取り組みの進捗状況を公表し、透明性の高い行政運営を目指します。
- 村民の皆さんや地域、団体、企業の主体的なむらづくりの取り組みを支援するとともに、それぞれの意見や提案を積極的に施策に反映し、協働のむらづくりを進めます。